

三原市久井歴史民俗資料館

vol.1

モーモー通信



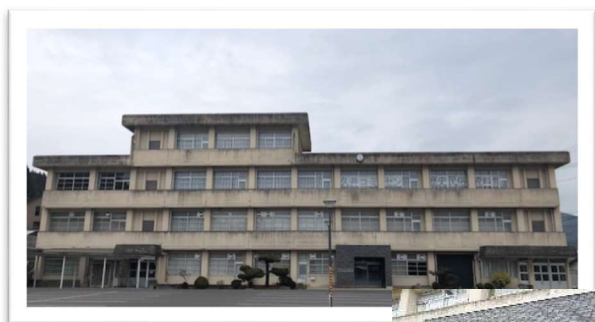
きて！みて！学ぼう！IN 資料館

モーモー出発！

三原市久井歴史民俗資料館は、三原市久井町に位置し、のどかな山々と田んぼに囲まれ、自然豊かな場所にあります。平成29年4月に旧資料館の老朽化のため、旧久井小学校へ引越しました。

このたび「モーモー通信」を発行することになりました。こちらは毎月、資料館のホットなニュースや企画展、講座のほか久井の文化財などをお伝えする広報誌です。

資料館は、牛市の関連資料をはじめとするたくさんの郷土資料を所蔵しています。久井小学校に統合した4校の小学校史、久井（杭）の牛市、節句どろ人形と人の一生、久井の灯りと民具、農村のくらしをテーマとした第1～4常設展示室を設けています。



資料館の外観



入口



久井稲生神社下にあった旧資料館



収蔵庫内



第4展示室「農家のくらし」



第2展示室「節句どろ人形」

第4展示室では昔の暮らしの様子を再現しています。一番大きな柱は、江戸時代に久井町の吉田の住居の大黒柱です。電気やガスがない時代に使っていた“かまど”は、移設の際に地域の方が復元してくださいました。こんなところに地域の温かさを感じる、素敵な場所に資料館はあります。

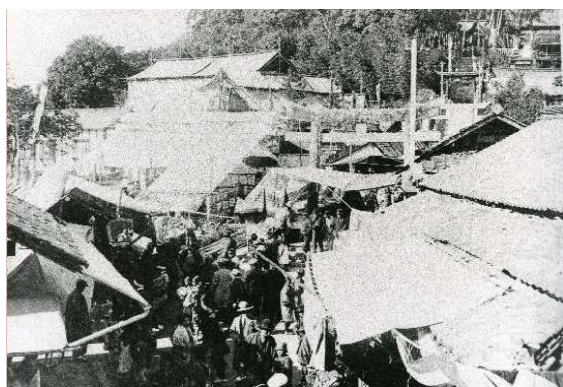
牛市をご存知ですか？



昭和 30(1955)年代初期 しろ 代かき風景



大正 14(1925)年発行「御調郡誌」掲載 久井家畜市場全景



昭和 20(1945)年 久井稻生神社付近のサーカス小屋
牛市ではサーカスなども開かれました。

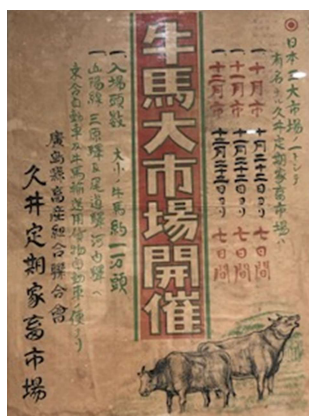
牛市とは牛馬市ともいい、牛馬を取引して売買する市場のことです。農業機械が普及するまで、牛馬と共に農作業を行っていたので、牛馬は日常に溶け込んでいました。久井の牛市が始まったのは平安時代と言われ、由緒ある牛馬市でした。

杭^{くい}の牛市跡は昭和 41(1966)年に「広島県史跡」に指定されています。牛市は江戸時代に広島藩の公認^{ほうき}となってから、大分豊後の浜^{はま}の牛馬市、鳥取伯耆^{ほうき}の大仙^{だいせん}の牛馬市とともに、「日本三大牛馬市」の一つにもなっていました。

どうして牛市が久井で盛んに？

1つ目の理由 中国山地沿いで牛が生産され、広島県南部や四国に消費されたため、久井はその中間地点であったからといわれています。

2つ目の理由 久井の稲生^{いなり}神社と深い関係が挙げられます。2人の牛馬の行商人が、稲生神社に参拝した後、牛が素晴らしい成長をしたという噂が広がり、この久井で自然に牛市が開かれるようになったとされています。神社の境内やその広場は格好の場所でもありました。



牛市が開かれる時、「モーモー」と鳴き声が2里(約 8km)先の山里にまで聞こえていたといえます。

← 大正 7(1918)年

市場告知ポスター

つづきは資料館で...

〒722-1303

三原市久井町下津 1397

三原市久井歴史民俗資料館

TEL・FAX 0847-32-7139

休館日 月曜日(月曜日が祝日の場合、翌日休館)、年末年始

アクセス 中国バス久井中停留所下車

ごあんない図

